



# 天文台だより

銀河の森天文台  
2004夏号  
Vol. 24

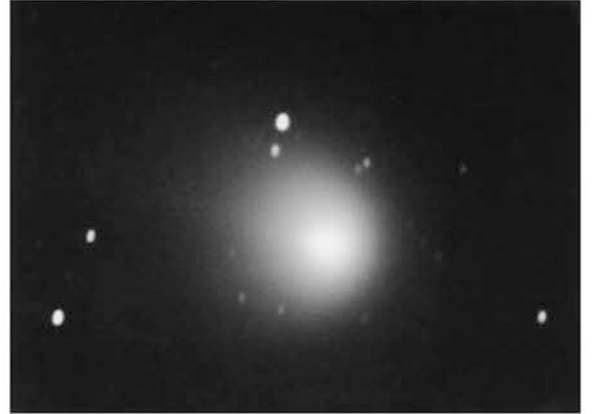
## 空前の彗星ラッシュ!!

以前から4月、5月に接近すると話題になっていたリニア彗星 (C/2002 T7) とニート彗星 (C/2001 Q4) とは別に、3月末にオーストラリアのブラッドフィールドさんによって新たな彗星が発見され、ブラッドフィールド彗星 (C/2004 F4) と命名されました。これら3彗星が4月下旬から相次いで日本で観測され、銀河の森天文台でも観測に成功しました。ニート彗星 (C/2001 Q4) は2001年8月24日に、リニア彗星 (C/2002 T7) は2002年10月14日に発見された彗星です。

まず4月下旬に、ブラッドフィールド彗星とリニア彗星が明け方東の空に見え始めました。

ブラッドフィールド彗星は、双眼鏡で見ると写真のように立派な尾を確認できました。リニア彗星は残念ながら予想より暗く、尾も短くて、双眼鏡でやっと確認できる程度でした。

5月中旬頃になると、今度はニート彗星が夕方西の空に見え始めました。ニート彗星はほぼ予想通り、肉眼でもわかるぐらいの明るさになりました。双眼鏡で見ると、短いですがしっかりとした尾が確認できました。



ニート彗星 (C/2001 Q4) 2004年5月11日 20:28  
115cm大型望遠鏡, ISO400, 露出60秒



ブラッドフィールド彗星 (C/2004 F4)  
2004年4月26日 2:40  
100mm, F2.8, ISO800, 露出60秒



リニア彗星 (C/2002 T7)  
2004年4月26日 3:20  
300mm, F2.8, ISO800, 露出30秒

## 1882年以来122年ぶり! 金星の太陽面通過!!

6月8日14時過ぎから日没にかけて、世界で122年ぶり、日本では130年ぶりに金星が太陽の前を通過する珍しい現象「金星の太陽面通過」が起きました。

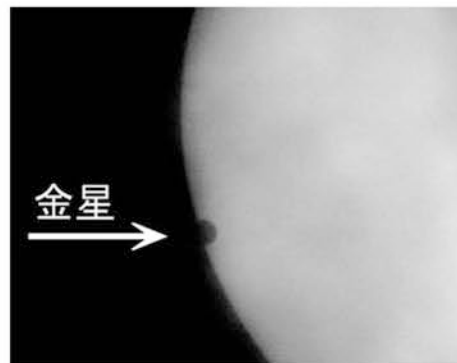
金星の見かけの大きさが太陽の30分の1程度あるので、日食グラス等を使用すると太陽の前を通過する真っ黒な金星を肉眼でも観測することができたのですが、残念ながら陸別は曇り空で肉眼では見ることはできませんでした。ただ、幸運にも雲の薄い時間があり、フィルターを取り付けた望遠鏡では観測することができました。

次にこの現象が起きる日は、2012年6月6日で、その次は2117年12月11日です。

## 暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:13	13.3	18:15	1:52
7月 15日	3:54	19:07	27.3	1:22	17:51
8月 1日	4:11	18:51	14.6	19:34	4:07
8月 15日	4:26	18:32	28.6	2:58	18:32
9月 1日	4:45	18:04	16.1	19:11	6:52
9月 15日	5:01	17:39	0.5	5:17	18:06
10月 1日	5:19	17:10	16.5	18:16	8:02
10月 15日	5:35	16:45	1.0	6:35	17:14



金星の太陽面通過  
2004年6月8日 14:23  
30cmカセグレン式反射望遠鏡 (3572mm, F12), フィルター: ND400, ISO100, 露出1/360秒

# 天文行事 & 暦

## 7月

- 2 ○満月
- 7 小暑  
(24 節気: 太陽黄度 105°)
- 15 金星が最大光輝  
(光度: -4.5 等)
- 17 ●新月
- 17, 18 天の川観望会
- 22 大暑  
(24 節気: 太陽黄度 120°)
- 27 水星が東方最大離角  
(光度: 0.5 等, 離角 27° 07')

## 8月

- 1 ○満月
- 6 海王星が衝  
(光度: 7.8 等)
- 7 立秋  
(24 節気: 太陽黄度 135°)
- 11, 12 ペルセウス座  
流星群観望会
- 12 ペルセウス座  
流星群が極大  
(14 時、最大 60 個/時)
- 13-15 宇宙線観察会
- 16 ●新月

## 9月

- 7 白露  
(24 節気: 太陽黄度 165°)
- 9 水星が西方最大離角  
(光度: -0.1 等,  
離角: 17° 58')
- 14 ●新月
- 22 秋分  
(24 節気: 太陽黄度 180°)
- 28 ○満月(中秋の名月)

## 夏のイベント情報!!

### ☆天の川観望会

夏の夜空に架かる「天の川」や天の川周辺の天体を観望します。

開催日時 平成 16 年 7 月 17 日(土)、18 日(日)  
説明会 両日午後 7 時から

### ☆町民無料観望会

7 月 21 日(水)～8 月 8 日(日)まで、町民の皆さんへ天文台の無料開放を行います。(但し月曜・火曜は休館日です。)団体、サークル活動の一環としての来館も是非どうぞ。

### ☆ペルセウス座流星群観望会

年間三大流星群のひとつペルセウス座流星群が 8 月 12 日 14 時頃極大をむかえ、約 60 個/時程の流星が流れると予想されているため、観望会を開催します。

開催日時 平成 16 年 8 月 11 日(水)、12 日(木)  
説明会 両日午後 7 時から



### ☆星のトリビア(天の川)

白っぽく雲がかかっているように見える天の川も双眼鏡で見ると無数の星の集まりであることがわかります。さて、この天の川が星の集まりであることを最初に発見した人をみなさんはご存じでしょうか？

1610 年、天文学者ガリレオ・ガリレイが自分で作った望遠鏡で眺めてこのことを発見したのです。

### ☆宇宙線観察会

宇宙から降りそそぐ、目に見えないもの「宇宙線」を大型霧箱で観察します。

開催日時 平成 16 年 8 月 13 日(金)～15 日(日)  
観察会・説明会 各日午後 7 時から

### 銀河の森コテージ村からのお知らせ

平成 16 年 4 月より、コテージ村使用料を下記のとおり一部変更しました。

	通常	4 月 28 日～5 月 5 日 7 月 1 日～9 月 30 日
6 人用	18,000 円	20,000 円
6 人用 (半地下タイプ)	20,000 円	22,000 円
10 人用	30,000 円	33,000 円

☆陸別町民の方、及び3連泊以上使用する方は、1泊につき3,000 円を割引いたします。但し、4 月 28 日～5 月 5 日、7 月 1 日～9 月 30 日の間は適用されません。

### お知らせ

8 月 9, 10, 16 日は月曜・火曜ですが特別開館いたします。

### 売店 INFORMATION

天文台オリジナル商品や陸別特産品の他、宇宙食・天体ポスターなどの宇宙グッズも多数販売しております。是非、ご利用下さい。

発行・編集：りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 01562-7-8100 FAX: 7-8102

URL: <http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/tenmon/index.html>

E-mail: [ginga@town.rikubetsu.hokkaido.jp](mailto:ginga@town.rikubetsu.hokkaido.jp)